

放課後児童クラブの民間委託の検討について（素案）

背景

現状の運営に係る課題

- ・利用者ニーズの高度化に対する均質かつ良質なサービスの提供への対応
- ・処遇の硬直化による職員の意欲低下
- ・事業コストの増大
- ・平成29年度行政評価結果「他都市では民間で運営している事例も多く、外部委託等効率的な運営方法について検討すること。」

目的

放課後児童クラブの外部委託により、安定した児童クラブの運営はもとより、民間事業者等が有する専門的かつ高度な知識や経験等のノウハウの活用による均質で良質なサービスの提供をもって、児童の安全・安心な放課後の児童の居場所としての児童クラブを確立し、保護者の子育てと就労の両立支援を図る。

民間委託により期待される効果

- (1) 均質かつ良質なサービスの提供
公共の福祉及び受益負担への公平性を確保するため、民間事業者が有する知識や経験、人材の活用により、均質かつ良質なサービスの提供が図られる。
- (2) 支援員の処遇改善
労働時間や報酬額を弾力的に設定・運用することにより、支援員の勤労意欲を高め、質の向上につなげるとともに、安定的かつ良質な人材確保を図ることで、円滑な児童クラブ運営を実現する。
- (3) 支援員の資質向上
民間事業者が有する多様な経験やコネクション等を活用した研修体制の確立により、支援員の資質向上を図る。

民間委託により想定される課題等

① 児童・保護者の懸念

児童の支援や活動内容の企画・実施に関することへの懸念

② 学校の懸念

校内で民間事業者が運営することに対する学校管理上の懸念

③ 放課後児童クラブ支援員の懸念

嘱託職員から身分が変わることでの処遇への懸念

放課後の児童の居場所づくりに係る方針に基づく対応の検討
(公設公営から公設民営へ)